

進化する鏡石町へ向け、

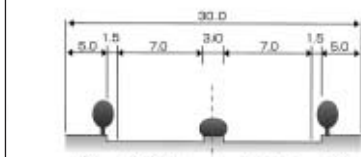
～国道4号鏡石拡幅事業～

町並みが変わります

鏡石町の中央を南北に走る国道4号は朝夕時の交通渋滞の緩和や交通事故の削減、歩行者の安全のために、2車線から4車線への拡幅事業が進められています。今月は、事業の進捗状況などについてお知らせします。

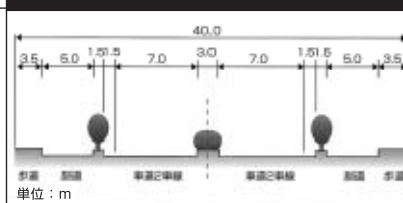
別図1⇩

道路幅員構成[標準区間]



単位：m

道路幅員構成[副道設置区間]



単位：m

別図2⇨

地下横断歩道工事が進む役場前交差点

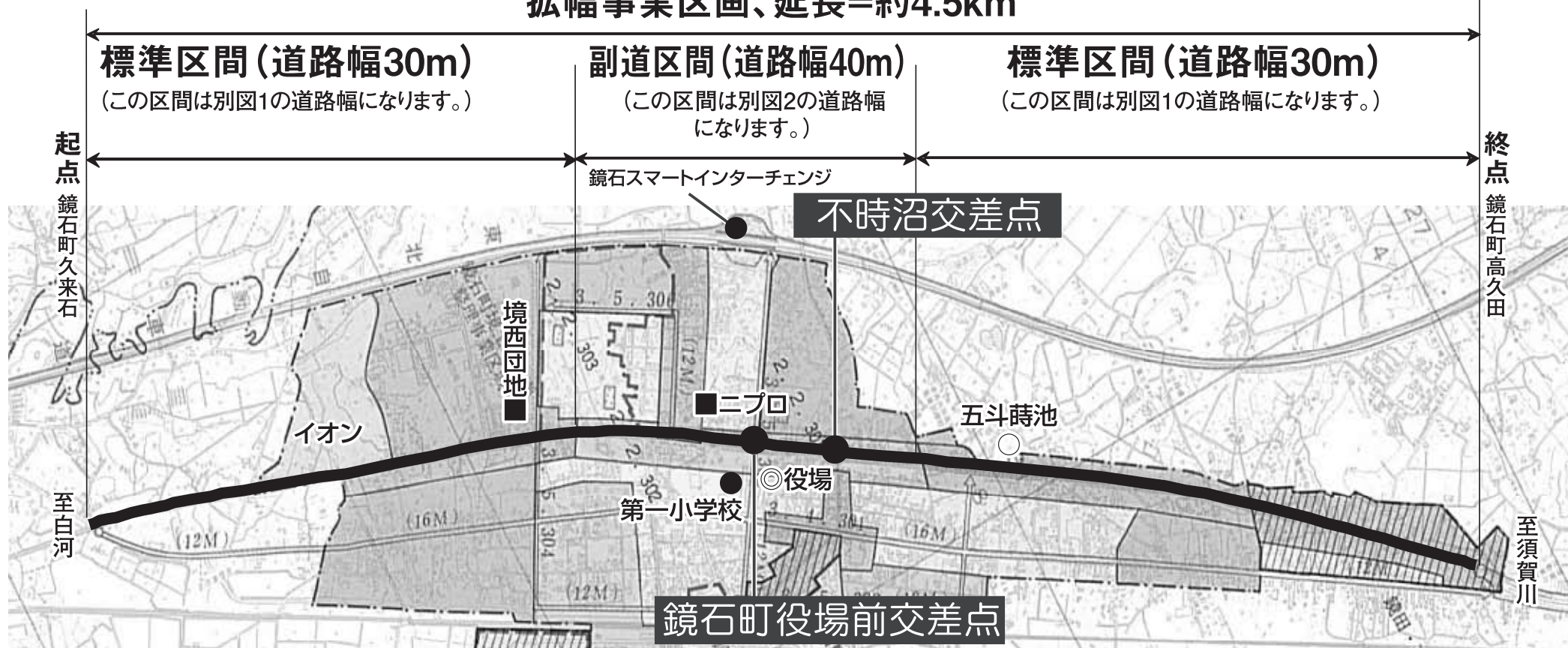
歩行者の横断時の安全を確保するため、役場前交差点と不時沼交差点に地下横断歩道を整備しています。



町民の皆さんからこんなご意見を頂いています。

- 高齢者や障がい者でも安心して渡れる道路を作ってほしい。
- 地下道をみんなが利用できるようエレベーターを設置してほしい。
- 地下道には利用者の安全のために防犯カメラを設置してほしい。
- 美しい景観を保った道路にしてほしい。

拡幅事業区画、延長=約4.5km



県内で最も渋滞する道路

国道4号は、東京を起点に東北地方を縦断し青森に至る日本で最も長い国道で、町の中央部を南北に通過しており、一日の交通量が約3万台にも達する幹線道路です。しかし、町内を走る車線は上下片側1車線の構成となっており、朝夕の交通量が増える時間帯は、渋滞が発生しています。その混雑度は福島県内の国道4号でも最も激しい箇所となっています。また、国道を挟んで町の西側から学校へ通う子供たちにとっては、交通量の多い国道の横断は交通事故の危険が心配されます。



▲朝夕の通勤通学時間帯時には渋滞が発生

4号拡幅へ向け

町では、渋滞解消や交通安全の確保のため、平成14年4月に策定した第4次総合計画に4号の4車線化を盛り込み、その事業に向けて国や関係機関へ要望してきました。以降、国事業としての予算確保や地域の皆さんへ協力をお願いなどを進め、平成21年度には一部の工事が始まりました。

今後事業は、現在行われている、用地交渉や地下横断歩道などの工事が進められる予定です。

新国道4号に期待されること

まず、当然ですが、混雑が大幅に緩和され、車の流れがスムーズになります。混雑が解消されることで、利用者が多くこうむってきた時間的ロスが少なくなります。

交通安全の面でも、混雑時に多く発生しがちな事故が減り、道路利用者の安全性が大幅に向上します。事業では、歩行者のための整備も併せて行われますので、歩行者にとってもこれまでより快適に道路を利用することができると期待されています。

事業経緯

- 平成14年度 第4次町総合計画において4車線化を計画、PI(※)を実施
- 平成15年度 都市計画として決定、国事業として着手
- 平成16年度 道路設計開始
- 平成17年度 関係機関との協議を開始
- 平成18年度 鏡石拡幅事業検討委員会を開催(3回)
- 平成20年度 第2工区(高久田～役場前)の用地買収交渉開始
- 平成21年度 第1工区(役場前～久来石)の用地買収交渉開始、地下横断歩道設置工事一部開始

問い合わせ先

国土交通省東北地方整備局
郡山国道事務所工務課
☎024-946-8163
都市建設課 ☎62-2116

※PI=パブリックインボルブメント、計画づくりの初期段階から関係住民らへの広報広聴を行い、それらを計画へ反映させること。